



LIBRE リブレ vol.24



I LOVE



MUSIC

第6回 ゴールドコンサート

チャレンジド (障がい者)・ミュージシャンの競演

報告書 (映像DVD付き)

KEIRIN



競輪補助事業



- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1・ 第6回ゴールドコンサート概要 | 14・ 審査員長よりメッセージ |
| 2・ 組織委員会会長よりあいさつ | 15・ 審査員よりメッセージ |
| 3・ 実行委員長よりあいさつ | インターネット生放送について |
| 4・ 協力者よりメッセージ | 16・ 制作協力よりメッセージ |
| 6・ 特別ゲストよりメッセージ | 17・ 実行委員よりメッセージ |
| 7・ 受賞者の声 グランプリ受賞 珍獣王国 | ボランティアよりメッセージ |
| 8・ 受賞者の声 準グランプリ受賞 穴澤雄介 | 19・ アンケート結果 |
| 9・ 受賞者の声 審査員特別賞 ダブルM | 22・ 障がいをもつ観客への配慮・収支決算書 |
| 10・ 出場者の声 | 23・ とっておきの音楽祭2010参加者募集 |

第6回ゴールドコンサート概要

—チャレンジド・ミュージシャンの競演—

・日時

2009年10月12日(月・祝)

・場所

東京国際フォーラム ホールC 最大席1,502席

・趣旨

チャレンジド(障がい者)ミュージシャンのコンテストであるゴールドコンサートは障がい当事者が企画・運営を行うことにより、障がい者の自立と社会進出を促進する。また、このコンサートに行政、企業、学校、地域の方々が広報、協賛、ボランティア、観覧など様々な形で参加することにより一般社会への理解を深める。

・内容

全国のチャレンジド・ミュージシャンを対象に音楽作品を募集し、その応募作品を専門の審査員が音楽性を基準として一次審査を実施(応募作品数52件)。一次審査を通過した10組と昨年から引き続き国際化推進を図るため韓国から1組の計11組が出場。当日その11組からグランプリ、準グランプリ、審査員特別賞を決定。また親子の絆をテーマとした今回は特別出場として発達障がいのOUT OF TUNEが参加した。また5周年記念ゴールドコンサート(2008年)グランプリ受賞大石亜矢子さんと特別ゲスト今井絵理子さんとの共演も行った。

・来場者

1,015名(児童・生徒招待272、車いす席36を含む)

・出場関係者

50名(出場者39名 介助関係者11名)

・スタッフ

約250名(ボランティア含む)

・インターネット生中継

総アクセス数2,886件(最大同時視聴310件)

受賞結果

- ・ グランプリ
珍獣王国「Reborn」
- ・ 準グランプリ
穴澤雄介「この星を歩こう」
- ・ 審査員特別賞
ダブルM「もしも私の目が見えたら」

※本報告書掲載の個人名、団体名は敬称を省略して表記いたします。

*ゴールドコンサート 組織委員会

【会長】

野田聖子 衆議院議員

【顧問】

平松一夫 関西学院大学前学長

【理事】

今福義明 アクセスジャパン代表
小川定孝 株式会社マグリアカンパニー 取締役 プロデューサー
奥山俊博 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
貝谷嘉洋 NPO法人日本バリアフリー協会 代表理事
金子秀明 株式会社日本テレソフト社長
齋藤 省 有限会社さいとう工房社長
高木 真 財団法人日本チャリティ協会
高橋 久 日本アムウェイ合同会社
竹中ナミ 社会福祉法人プロップステーション理事長
高橋 実 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 理事長
高橋陽子 社団法人日本フィランソपी協会 理事長
仲川一昭 福祉の管弦楽団まごころ・オーケストラ響(ゆら)
代表・指揮者 NPO福祉ネットワーク「結」
中邑賢龍 東京大学先端科学技術研究センター教授
西野 弘 株式会社プロシード社長
野澤 勝 株式会社コヤマドライビングスクールニ子玉川校副校長
船後靖彦 有限会社ケアドゥ 訪問介護ステーション 虹の橋
Peter David Pedersen
株式会社イススクエア代表取締役社長
安田武晴 読売新聞
山下 桜 パイオニア株式会社
山田栄子 株式会社三菱総合研究所
吉井 勇 株式会社ニューメディア
月刊ニューメディア編集長
吉崎英雄 株式会社フジテレビジョン 常任顧問

・組織委員会会長よりあいさつ



衆議院議員

のだ せいこ
野田 聖子

今年もまた東京国際フォーラムにて、盛況のうちにコンサートを終えることができました。「ゴールドコンサート」が第6回をむかえることが出来たことは、ひとえに皆様方の温かいご支援の賜物と、組織委員会委員長として心より厚く御礼申し上げます。

今回出場された12組の皆さんは、それぞれの個性ある演奏と豊かな表現力で実力を最大限に発揮し、会場は大変な熱気に包まれました。特にグランプリに輝いた珍獣王国さんの情熱あふれる演奏をはじめ、準グランプリ受賞の穴澤雄介さんの独創的な演奏、審査特別賞のダブルMさんの澄んだハーモニーには大変感動をいたしました。会場が一つとなり、出場者の皆さんから大きなメッセージを五感で感じ共有することができたと実感しております。

また、今回は韓国からCosmicalさんのご参加をいただいたほか、特別ゲスト出演として、前回グランプリ受賞の大石亜矢子さんと歌手の今井絵理子さんとの共演もございました。

今後もさまざまな境を越え、このコンサートの輪がさらに広がっていくことを期待してやみません。「ゴールドコンサート」が回を重ねる毎に皆様のご理解が深まり、真のバリアフリー連帯を築きあげていけることを願っております。

・実行委員長よりあいさつ



NPO法人
日本バリアフリー協会
代表理事

か いや よしひろ

貝谷 嘉洋

第6回ゴールドコンサート無事終了

第6回ゴールドコンサートは2009年10月12日(月・祝)に東京国際フォーラム ホールCにて無事終了することができました。

ご来場の観客の皆様は初めて1,000名を超え、インターネット生放送の視聴者も前回の3倍(最大同時視聴者数300)に増えました。

このコンサートの最大の目的は、多くの人にご覧いただき私たち障がい者の自立について理解を深めていただくことです。その意味では、今回は大きな成果を上げました。

とはいえ課題もいくつか見えてきました。

何度もご来場されている支援者の方々に満足していただくことは重要です。しかし、出場者の顔ぶれが同じになり満足度が低下しつつあることが挙げられます。

最大の理由は、オリジナルの音楽をクオリティで審査することを突き詰めると、障がいの種類や程度によって不利がでてしまうためです。実際、障がいの種類では視覚、他の障がいでは軽度の人に出場者が偏る傾向にあります。

しかし、ゴールドコンサートは障がい者の「できる」部分に注目し、理解してもらうことが大きなねらいなので、音楽のクオリティにそれほど拘らず、障がいやパフォーマンスの多様性を広く認める方向にするかは、議論が必要なところです。

いずれにしても、今後の対応としては、底辺を広げていくための出場者募集の徹底的な周知が挙げられます。認知度や注目度は上がっていますので、環境としては整っています。

また、「アジアでの草の根の国際交流」という趣旨もあるので、海外からの受け入れを少しずつ拡大する方向性は持っています。

運営は、積み重ねです。今回で方法論としては出つくした感があるので、次回以降は、これまでの中で最も良い方法を選択していきたいと思います。

今回、SPEEDの今井絵理子さんが特別ゲストとして協力してくれたことは、本当によかったです。特に20から30代の若い世代に指示されているミュージシャンなので、今後の弾みになりました。

また、ゴールドコンサートを弾みに羽ばたいていくチャレンジド・ミュージシャンも徐々に増えていっているような実感があります。皆様も応援をよろしくお願いします。

次回の開催に向けて課題を整理し、より良きものを作っていきます。引き続きのご協力をよろしくお願いします。

*協力者の皆様(以下、敬称略)

後援

厚生労働省

文部科学省

東京都

千代田区

社会福祉法人NHK厚生文化事業団

社会福祉法人視覚障害者支援総合センター

社団法人日本筋ジストロフィー協会

社団法人日本フィランソロピー協会

全国自立生活センター協議会

補助事業

財団法人JKA

助成

日本イーライリリー株式会社

協賛

〈企業・団体〉

アドビ システムズ 株式会社

有限会社エフ・アールマーケティング

オリックス社会貢献基金

関西学院大学

キッコーマン株式会社

KDDI株式会社

国際ソロプチミスト川崎

株式会社コヤマドライビングスクール

J-WAVE

新日鉄エンジニアリング株式会社

医療法人総文会

損保ジャパンちきゅうくらぶ

東神電気株式会社

日本航空

日本コムシス株式会社

株式会社日本テレソフト

パイオニア株式会社

ファイザー株式会社

株式会社フォーシーズ

有限会社フジオート FUJICON

明治製菓株式会社

明治安田生命

医療法人和楽会

他匿名希望2社

#協賛 〈個人〉

青山 武史
浅岡 徹
足立 昇平
安部 啓太
安藤 勇寿
伊藤 みと梨
稲垣 宜子
稲垣 嘉也
今泉 至明
海老原 義英
岡崎 祐士
小山 裕子
久保木 富房
古山 弥生
佐々木 司
高野 康子
高橋 賢一
高橋 善春
土屋 和久
中島 浩司
永井 憲一
西川 將巳
二宮 一夫
ニール・プラテック
福澤 利夫
福島 浩太
福島 敏子
穂積 祥一
村田 明彦
湯川 れい子
吉崎 久江
吉崎 英雄

他匿名希望4名

#協力

アステラス製薬株式会社
株式会社エフエム東京
株式会社 FM NACK 5
株式会社オルカビジョン
株式会社SIDE-B
株式会社Jストリーム
TOKYOミュージックマラソン実行委員会
とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
Yahoo!ボランティア
ヨツハシ株式会社

#主催

NPO法人日本バリアフリー協会



・協力者よりメッセージ



株式会社 日本テレソフト
代表取締役社長

かねこ ひであき
金子 秀明

#第6回ゴールドコンサートによせて

毎年3月に開催されるアメリカの視覚障害者機器展示会「CSUN」。その会場で貝谷さんと会いました。電動の車いすでアメリカまで渡ってきたことにも驚きましたが、明るい話にすっかり、魅了されました。そして、盲目のロック歌手「スティビー・ワンダー」が好きということです。実はその会場には毎年、彼が来ており、私とのツーショット写真にも応じてもらっていました。「ここにいれば会える」と言うと満面の笑み。しかし、残念ながらその時は会えず、代わって当社のスタッフが彼と出会い、そして、貝谷さんの音楽祭へのメッセージをビデオでもらうことが出来ました。そんな縁でのお付き合い、いつか、本物のスティビーが、ゴールドコンサートで歌う日を楽しみに応援しています。

